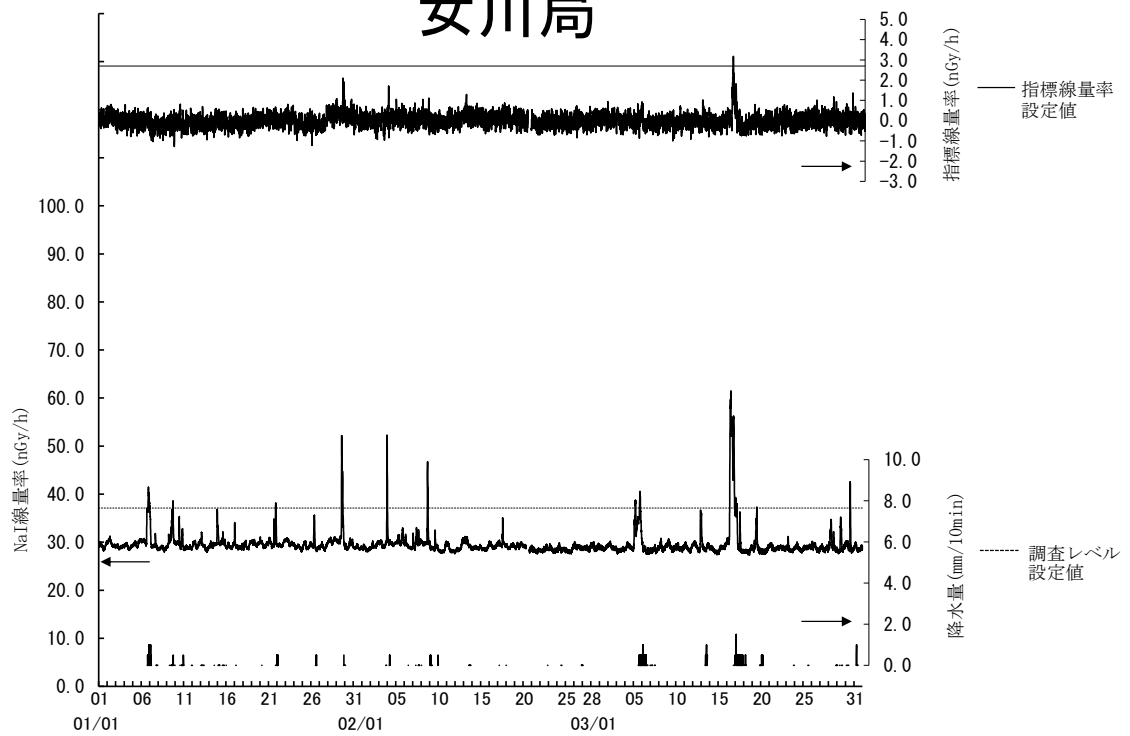


指標線量率関連資料

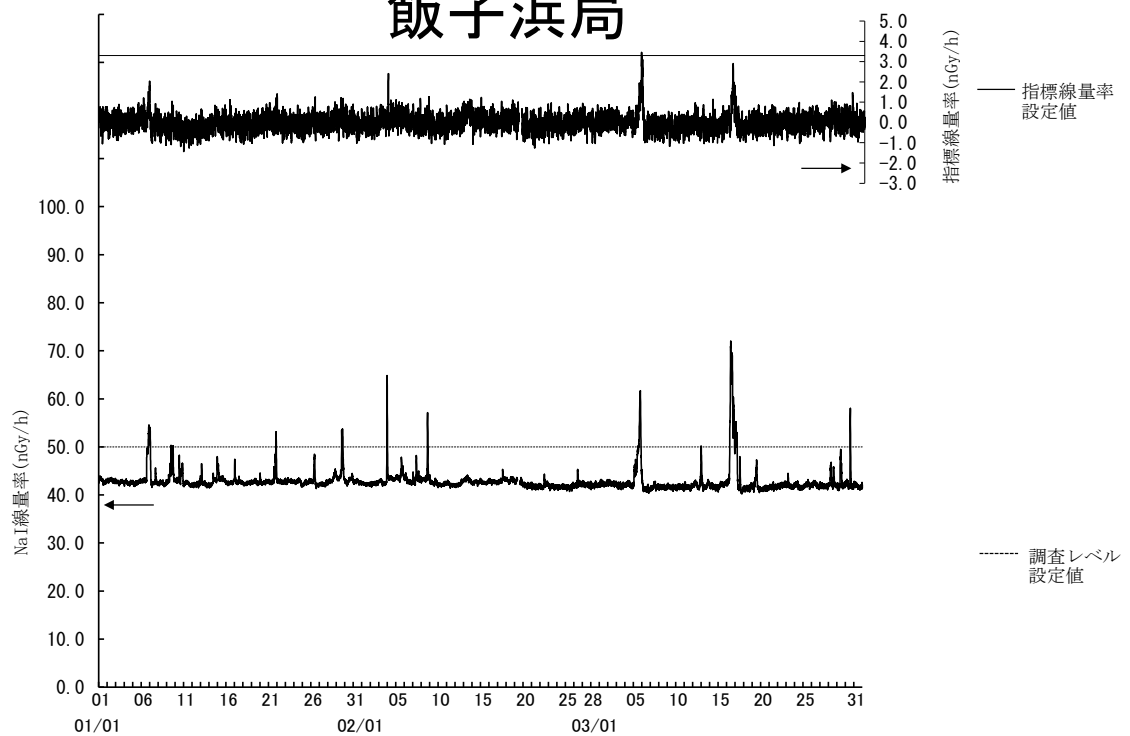
令和 6 年度第 4 四半期

女川局



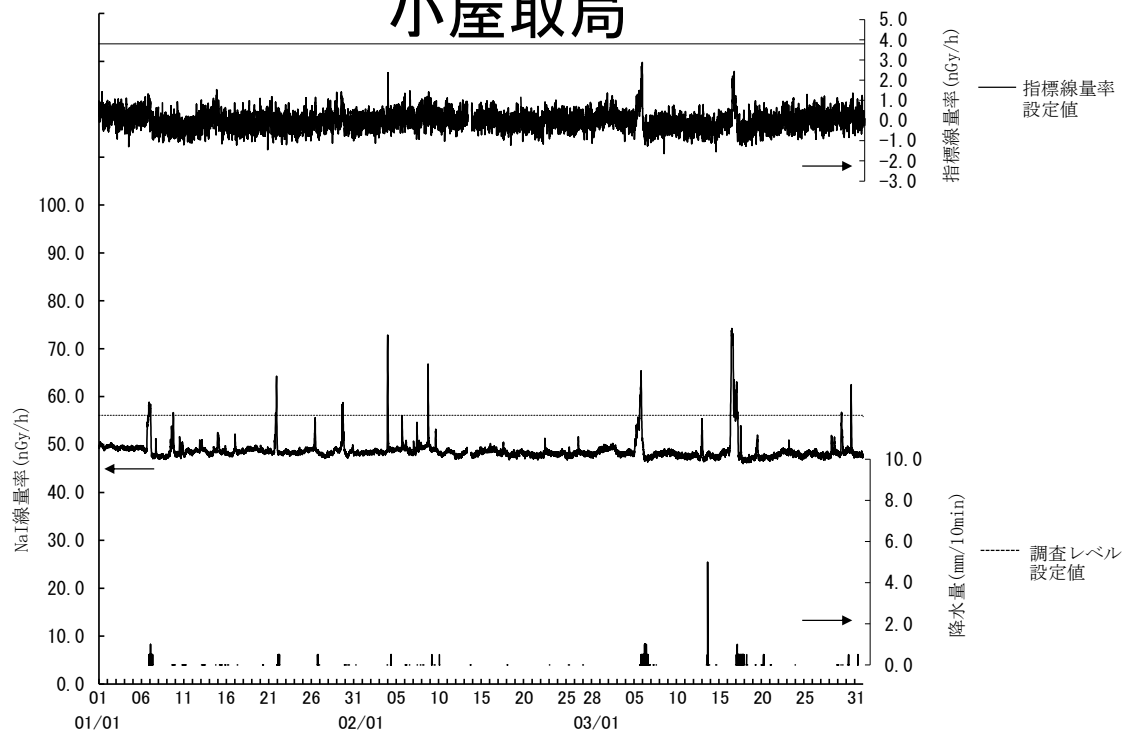
(注) 2月20日の欠測は環境放射線監視システム更新作業によるものである。

飯子浜局



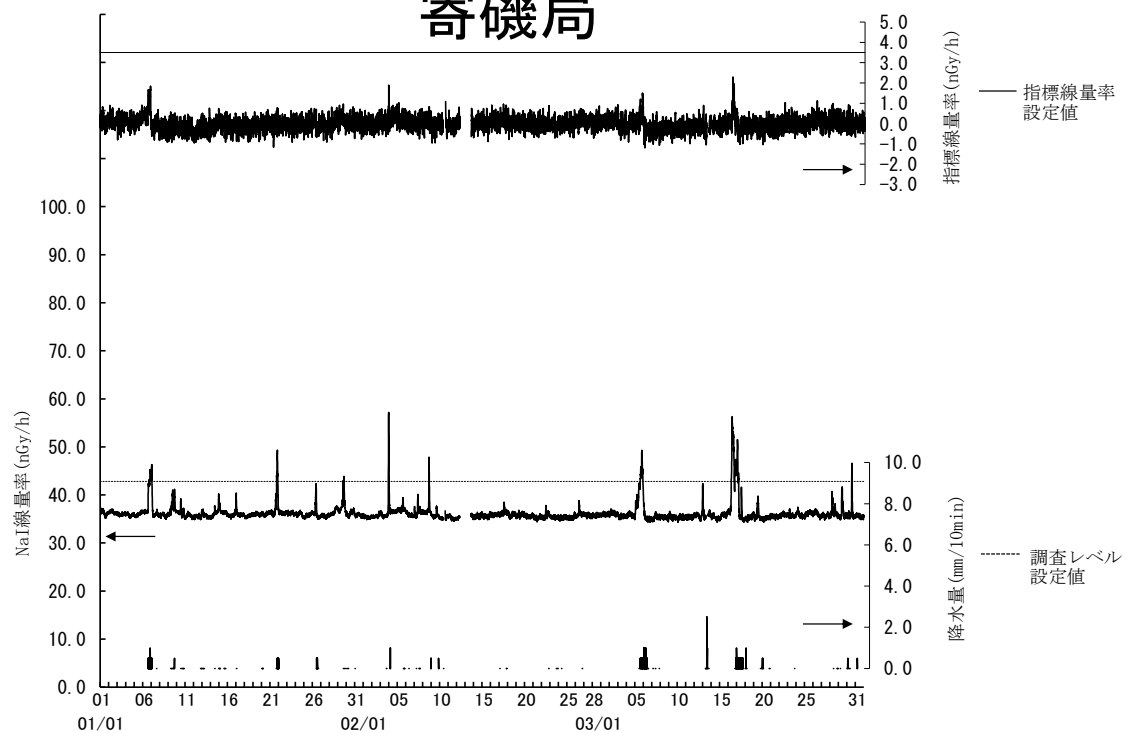
(注) 2月19日の欠測は環境放射線監視システム更新作業によるものである。

小屋取局



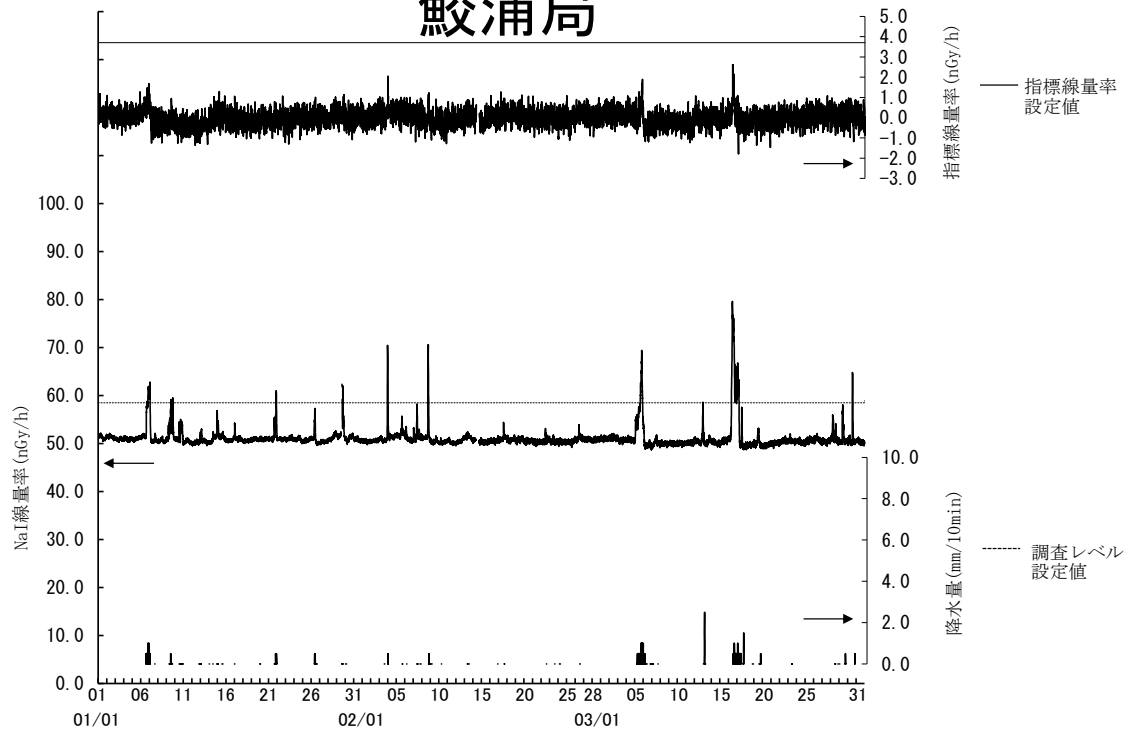
(注) 2月13日の欠測は環境放射線監視システム更新作業によるものである。

寄磯局



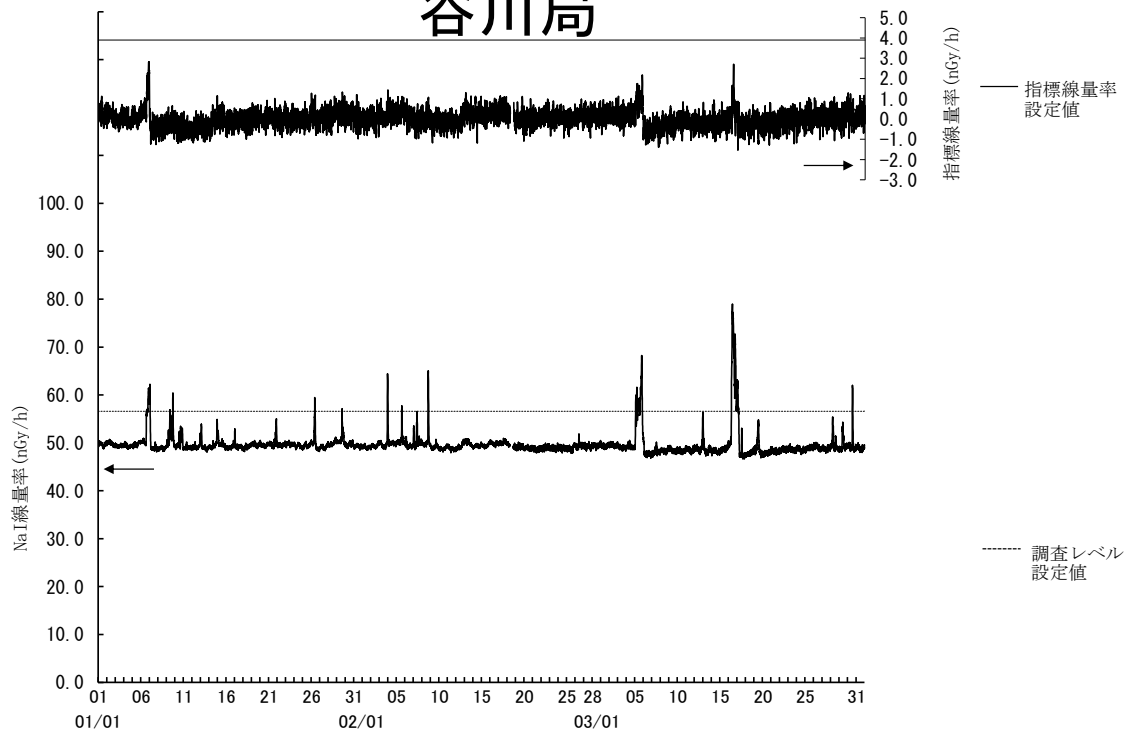
(注) 2月10日、12日及び13日の欠測は環境放射線監視システム更新作業によるものである。
3月13日及び14日の欠測は電離箱検出器の修繕作業によるものである。

鮫浦局



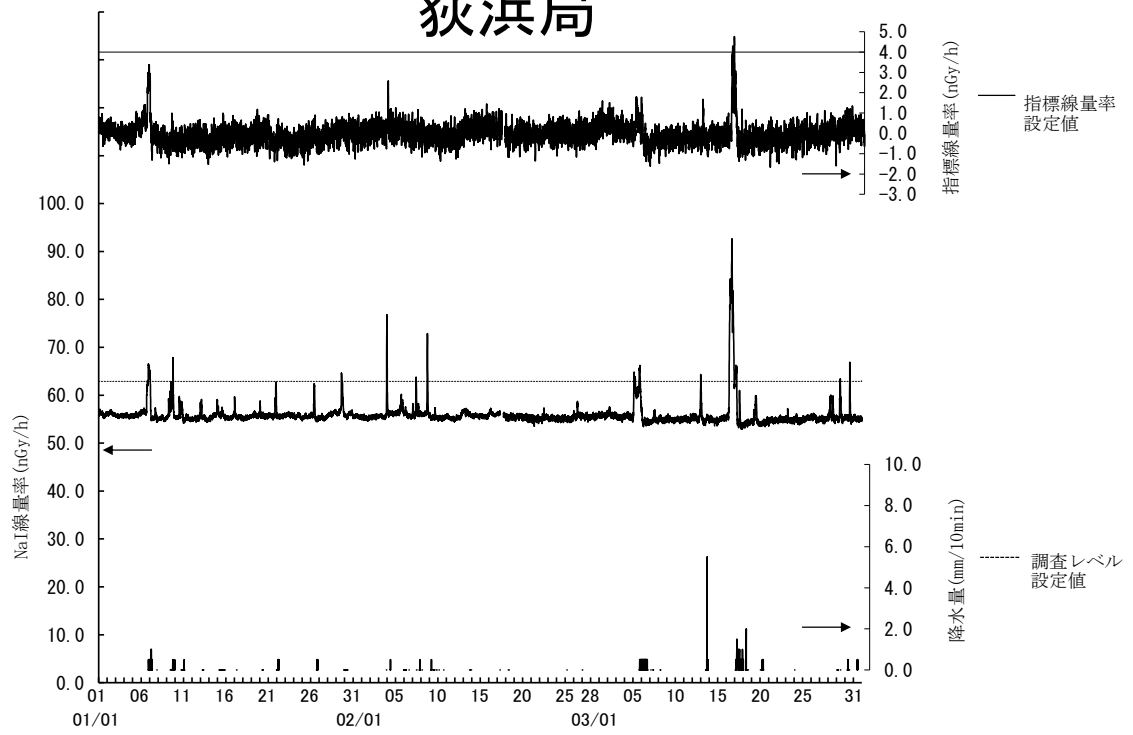
(注) 1月29日の欠測は定期点検によるものである。
2月14日の欠測は環境放射線監視システム更新作業によるものである。

谷川局



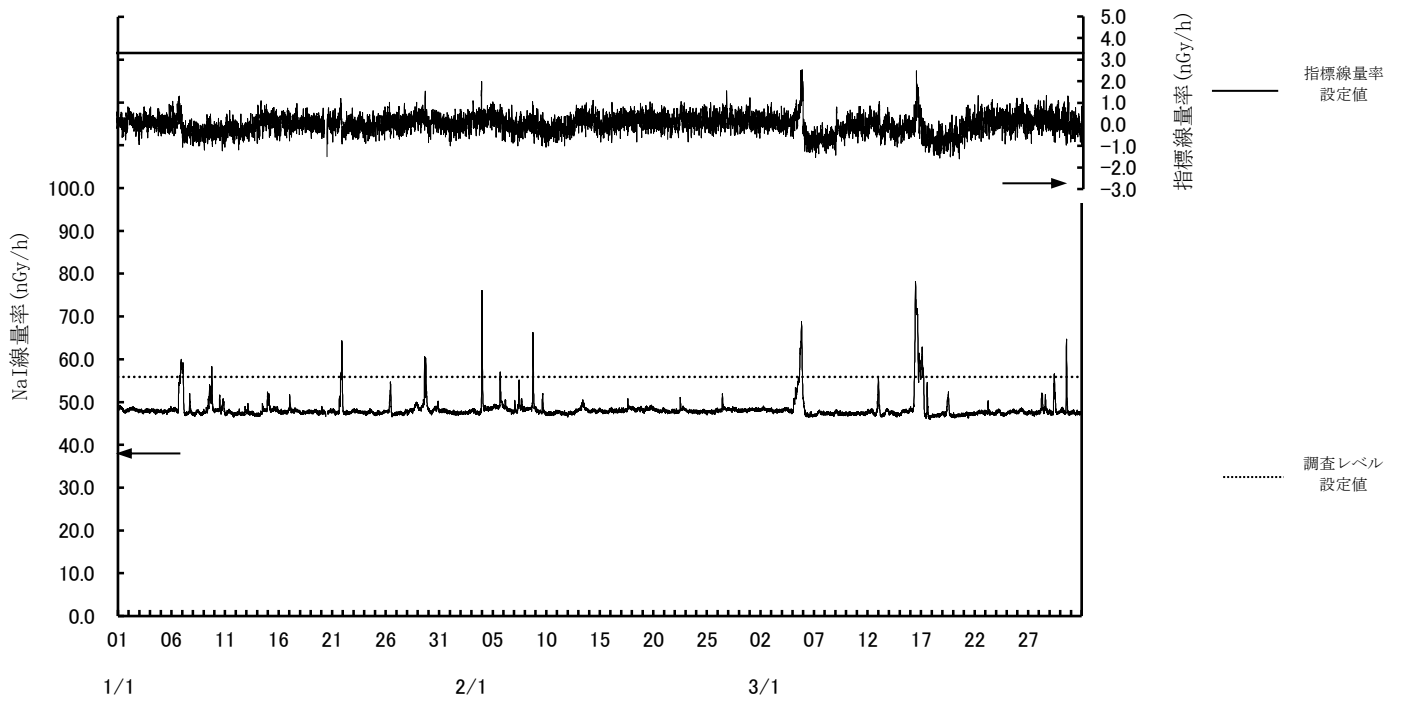
(注) 2月18日の欠測は環境放射線監視システム更新作業によるものである。

荻浜局



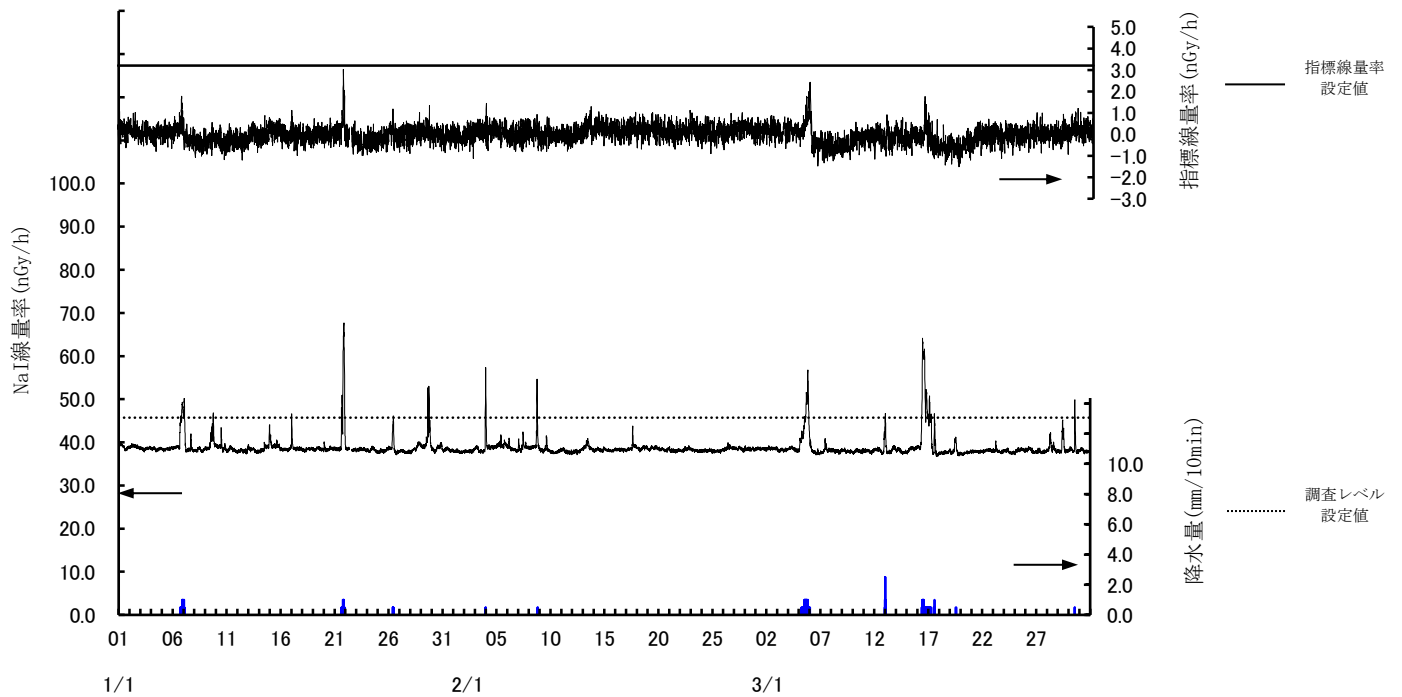
(注) 2月17日の欠測は環境放射線監視システム更新作業によるものである。

塚浜局



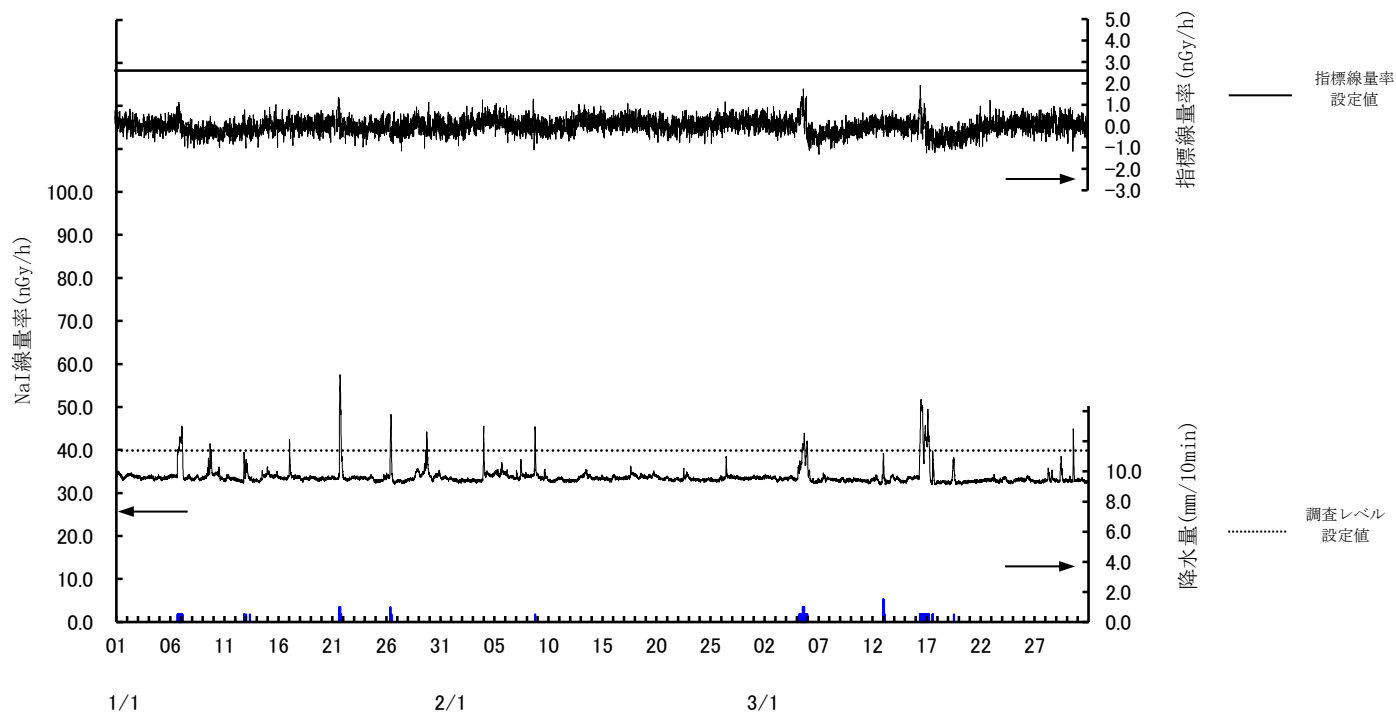
(注) 1月20日の欠測は、定期点検によるものである。

寺間局



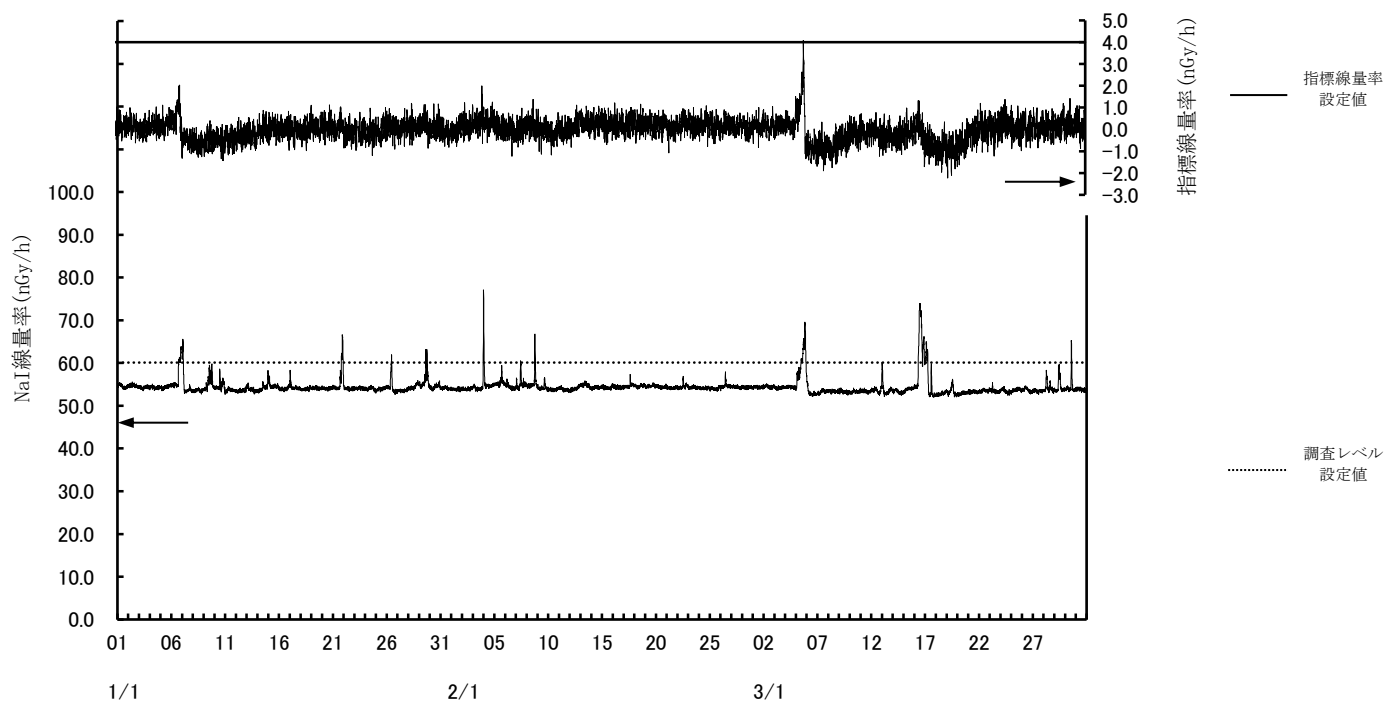
(注) 1月22日の欠測は、定期点検によるものである。

江島局



(注) 1月21日の欠測は、定期点検によるものである。

前網局



(注) 1月23日の欠測は、定期点検によるものである。

(参考)

空間ガンマ線量率監視における指標線量率設定値について

1 従前から運用していた7局

該当期	指標線量率設定値 (nGy/h)						
	女川局	小屋取局	寄磯局	塚浜局	寺間局	江島局	前網局
～平成28年度	2.0						
平成29年度	NaI(Tl)検出器の下方2πに設置していた鉛遮へいの取り外しにより、指標線量率の最大値や標準偏差が約2倍となったことから、指標線量率設定値の2倍の4nGy/hを暫定設定値とすることとした。						
	4.0						
平成30年度～	指標線量率の標準偏差はNaI線量率と相関があることから、指標線量率設定値を一律とせず、局ごとに設定することとした。 従前の設定値である2.0nGy/hは、指標線量率の標準偏差の各局平均値0.27nGy/hの約7.4倍だった。 従来と同程度のスクリーニングの割合を確保する観点から、平成29年度における各局の指標線量率の標準偏差の7.4倍を新たな指標線量率設定値とした。						
	2.7	3.8	3.5	3.3	3.2	2.6	4.0 [※]

※前網局については試算値が5.4nGy/hとなり、暫定設定値4.0nGy/hより大きくなったため、監視水準を低下させないよう、4.0nGy/hを継続することとした。

2 令和元年度から運用を開始した4局

該当期	指標線量率設定値 (nGy/h)			
	飯子浜局	鮫浦局	谷川局	荻浜局
令和元年度～ 令和3年度	令和元年度より運用を開始したモニタリングステーション4局については、過去データが無いため、平成29年度における既設局の暫定設定値を当面準用することとした。			
	4.0			
令和4年度～	過去データが蓄積されたため、指標線量率の設定値を検討し、既設局と同じ設定方法で算出することとした。			
	3.3	3.7	3.9	4.0